|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **学校経営推進費　評価報告書（最終）** | | |
| **１．事業計画の概要** | |  | |  |  |
| **学校名** | 大阪府立福泉高等学校 | |
| **取り組む課題** | 生徒の自立支援 | |
| **評価指標** | 1. 進級卒業率の向上 2. 理系/医療系/衛生系/保育系/福祉系大学専門学校進学者数の増加 3. 学校教育自己診断「学校が楽しい」「進路・生き方を学ぶ」の生徒肯定回答率の向上 | |
| **計画名** | 農業体験学習「ふくいずみアグリまるしぇ」 | |
| **２．事業目標及び本年度の取組み** | |  | |  |  |
| **学校経営計画の**  **中期的目標** | ３「他者と協働できる力」の育成  （２） 家庭・地域等と連携して安全で安心な学校づくりを進め、生徒の自己理解を深め、自尊感情・自己有用感の向上を図る。   * PTAや地域との交流活動（防災教育・ホタル鑑賞会・農業体験等）やきめ細かな情報提供を通じて、開かれた学校づくりを進める。 | |
| **事業目標** | 「ふくいずみアグリまるしぇ」とは、「ふくいずみ：福泉高校」「アグリ：agriculture（農業）」「まるしぇ：marchè（市場）」からなる造語であり、農業体験学習を通じて福泉高校を様々な人々が集う地域の拠点とする事業の呼称である。  具体的には、校内菜園「ふくまるファーム」と隣接する特別養護老人ホーム「なかよしファーム」および就労支援Ｂ型施設「実里」で生徒が大豆・野菜・果物を栽培して収穫する。  地域の高齢者・障がい者・幼児・児童と協働する中で、生徒の主体性や協調性を育み自尊感情を高める。さらに、多様な交流の中で食品を生産・販売している企業とコラボしながら収穫物を使用した商品「ふりかけ」、「バーガー」を開発し、福泉高校の魅力を外部に発信する。  このことにより、生徒の成長とともに事業の成果を進級卒業率の向上及び進学者数の増加につなげていく。 | |
| **整備した**  **設備・物品** | ＜菜園用具一式＞ 苗・種・培養土・肥料・苦土石灰・堆肥・寒冷紗・園芸ネット・園芸支柱・プランター、等  ＜生徒用農具一式＞ 農作業着・長靴・軍手・レインコート・スコップ・鎌・鍬・レーキ・一輪車、等  ＜菜園整備一式＞ 菜園看板・シャッター倉庫・角材  ＜農機一式＞ 耕運機・軽トラック  ＜調理器具一式＞ ベーカリーレンジ  ＜商品開発一式＞ シール・卓上メニューボード | |
| **取組みの**  **主担・実施者** | 主担者 ふくまる実行委員会（有志10名）  実施者 （１年め） ふくまる実行委員会・生活指導部・生徒支援部・農業体験同好会 | |
| **本年度の**  **取組内容** | 事業計画において、３年め取組内容として計画していた「オリジナルハンバーガーの開発と販売」（以降：「バーガー企画」）を遂行することができた。  ①新型コロナ感染症拡大防止の観点から、調理や販売を伴う活動はコラボ企業に委ね、本校生徒や地域の子どもたち（幼児・児童・生徒）からレシピを募集した。  ②応募されたレシピ127通（本校生徒41通、他86通）の中から「ふくまるバーガー」２品（「タンライスバーガー」・「ビビンバ－ガー」）を選考した。  ③連携先の飲食店（以降：コラボ店）でレシピ応募者参加型のバーガー試作会を実施した。  ④上記２品の「ふくまるバーガー」、コラボ店で期間限定販売し、売上金の一部を高齢者福祉施設に寄付した。 | |
| **成果の検証方法**  **と評価指標** | ①進級率平成30年度比10％増（１年96％ / ２年98％ 達成）  ②卒業率平成30年度比10％増（82％ 達成）  ③理系/医療系/衛生系/保育系/福祉系大学専門学校進学者数30名  ④学校教育自己診断「学校が楽しい」/「進路・生き方を学ぶ」生徒肯定回答率平成30年度比10％増（82％ / 87％ 達成） | |
| **自己評価** | ① 進級率（令和３年度１年83％・２年86％） （△）  ② 卒業率（令和３年度75％） （△）  ③ 理系/医療系/衛生系/保育系/福祉系大学専門学校進学者数（46名） （○）  ④ 学校教育自己診断（生徒） 「学校が楽しい」肯定回答率74％ （△）  「進路・生き方を学ぶ」肯定回答率87％ （○） | |
| **事業のまとめ** | （１年め）  ・本校生徒が連携先の高齢者福祉施設を訪問し、高齢者の方々と共同で野菜づくりを体験  ・本校菜園に地域の幼少児や高齢者を招き、収穫体験会やみかん販売会等を開催  ・本校生徒による料理コンテストを開催し、複数の連携企業が選定した優秀作品をコラボ店で商品化  （２年め）  ・新型コロナウイルス感染症による影響により、いくつかの事業目標や取組内容を修正  ・学年や部活動と連携しながら、医療介護従事者支援やコロナ支援募金活動等を実施  ・生徒が手作りした簡易エプロンを連携先の高齢者福祉施設に寄贈  ・文化祭でチャリティー企画を実施（キックターゲットの参加費を高齢者福祉施設に寄付）  （３年め）  ・コロナ禍が続く中、「バーガー企画」を飲食店支援事業に位置づけ、レシピコンテストを開催  ・「ふくまるバーガー」を本校最寄駅にあるコラボ店で販売し、売上金の一部を高齢者福祉施設に寄付  （総括）  学校経営推進費事業「ふくいずみアグリまるしぇ」（以降：「ふくまる」）を通じて、地域の団体（幼稚園、小中学校、施設、企業等）から多くのご支援をいただいた。本校生徒が目を輝かせながら活動し、地域の多様な方々との交流を通して主体性や協調性を高めることができた。同時に、授業、特別活動、総合探究、部活動等、様々な教育活動を通じて、生徒の自己肯定感を育み、生徒の自立支援を実践することができた。  （今後について）  学校経営推進費事業を通じて得られた地域や企業等との連携を継続し、本校の魅力づくりと魅力発信につとめる。また、今後、本事業「ふくまる」の成果を学校経営計画に掲げる「安全で安心な開かれた学校づくり」の推進につなげていく。 | |

**３．事業費報告**

